

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	介護支援サポーター事業			会計	款	項目	大専	小専
政策	O4	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	介護支援課			
施策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり		主管課長	菊池 義博			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	要支援、要介護認定を受けていない65歳以上の高齢者	意図	高齢者の社会参加を通じた介護予防の推進を図る。
事業内容	介護支援サポーターとして登録を行った65以上の方が市内の介護施設（特別養護老人ホームやデイサービスセンターなど）で、サポーター活動（見守り、話し相手、レクリエーションの補助、配膳など）を行った場合に、その活動実績に応じた活動評価ポイントを転換交付金、ながぼんWAONポイントに交換できる制度である。			
事業開始から現在までの状況変化	平成25年4月1日から高齢者の積極的な社会参加を通じた介護予防の取組みを推進することを目的に事業がスタートした。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	介護支援サポーター登録者数	223	69	92	人	↑↑↑
②	累計登録者数	430	490	568	人	↑↑↑	
③	活動者数	186	239	254	人	↑↑↑	活動実績のある方
④							
⑤							
⑥							

  

指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）		
事務事業のコスト	平成26年度	平成27年度	平成28年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	11,801,900	12,639,733	12,549,865
事業費(b)(円)	8,346,900	8,874,733	9,117,365
うち一般財源			
職員給与費(c)(円)	3,455,000	3,765,000	3,432,500
人役・職員(人)	0.50	0.50	0.50
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

平成28年度は、5回の制度説明会と6回の介護支援サポーター養成講座を実施した。今年度の介護支援サポーターの登録者は92名となった。登録者のスキルアップと、未活動者の活動促進のためフォローアップ講座を計4回開催し、また、活動先となる施設見学会を15回実施。

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H28)の改善計画	広報やホームページ等だけではなく、市民と関わる機会があれば周知を積極的に行っていく。サポーター活動に繋がるような方法を検討する。	③取組の課題	新規登録者が今年度は92名と昨年度より約20名増加したが、活動率は減少しているため、市民へのPRの機会を増やし、活動に繋げるための取組みが必要である。
②今年度(H28)に実施した取組	広報、ホームページで周知をした。フォローアップ講座と受入機関見学会を実施した他、活動者と未活動者に介護支援サポーター事業についてのアンケートを実施した。	④今後の改善計画	ゆうゆう大学生に事業のPRを行う。また、介護支援サポーターとして登録したが、活動に繋がらないサポーターの活動に繋がるようなフォローアップの方法を検討していく。